

製品名: ADFP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86700**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:48 kDa; Observed MW:48 kDa

抗原情報

遺伝子名	ADFP
別名	ADFP; ADRP
遺伝子ID	123
SwissProt ID	Q99541
免疫原	ヒトADFPの合成ペプチド

背景

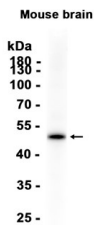
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内脂質貯蔵滴を覆うペリリピンファミリーに属します。このタンパク質は脂質

球の表面膜物質と関連しており、脂肪組織の発達と維持に関与している可能性があります。しかし、これまで考えられていたように脂肪細胞に限定されるわけではなく、線維芽細胞、内皮細胞、上皮細胞など、幅広い培養細胞株、そして授乳期乳腺、副腎皮質、セルトリ細胞、ライディッヒ細胞、アルコール性肝硬変の肝細胞などの組織にも認められます。これは、この遺伝子が多様な細胞種や疾患における脂質蓄積のマーカーとして機能する可能性を示唆しています。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2011年3月]

研究分野

-

画像データ



ADFP ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。